

第5学年国語科学習指導案

日時 平成18年10月20日(金) 5校時

指導者 富山 憲司

児童 男7名女5名 計12名

1 単元名 伝え合って考えよう 「人と『もの』との付き合い方」

2 単元について

(1) 主な目標

本単元の主たる指導事項は、「話し手の意図を考えながら話の内容を聞くこと(イ)」である。

この力を育てるためには、話す目的や意図を持っている話し手に対して、聞き手も相手意識を高めながら聞く力と、相手の意図をつかみながら聞く力が大切になってくる。

そこで本単元では、「発表者の考えと自分の考えとを照らし合わせ、話題のとらえ方の違いや共通点を明確にしながら聞く。」を主な目標とする。

(2) 児童の実態

児童は4年生までに、「身近な話題への興味・関心を持ちながら事柄を順序だててわかりやすく話すこと」、「互いの考えを比べながら聞き合うこと」、「目的や相手に応じた話し方を工夫すること」を学習してきた。については、意識して取り組めるようになってきたが、やについては、苦手な児童が多い。

意識調査からも、「話し手の意図を考えながら聞くこと」、「目的や相手に応じて話すこと」の意識が薄い児童が多いことがわかった。

(3) 指導にあたって

この単元では、「聞く」に焦点を当て、友達の発表を聞くことで自己内対話をし、自分の考えを深める体験をさせる狙いがある。そのためには、問題を、知識・情報として受け入れるだけでなく、いかに自分の問題にしていくかが大切になってくる。

そこで発表学習では、友達の発表を「聞く」事を丁寧に指導したい。自分の問題意識や調べたこととどうかわかるのか、それによって自分の考えは変わるのかなどについて、聞き取りメモを用いて聞き、考えさせたい。

3 単元の目標

(1) 関心・意欲・態度

自分と「もの」との付き合い方を見つめなおし、活動を通して考えを深めようとしている。

(2) 話すこと・聞くこと

自分の課題について調べた内容や感想が友達にわかるように、組み立てを工夫して話すことができる。

発表者の考えと自分の考えとを照らし合わせ、違いや共通点を明確にしながら聞くことができる。

(3) 書くこと

自分の考えと他の考えとを対比しながら文章全体を組み立てる。

自分の体験や知識と自分が考えた意見とを区別して書く。

4 学習指導計画（15時間扱い）

前单元から

「読書の世界を広げよう」
読書会で、自分が読んだ本の魅力や自分の感じ方や考え方を、メモを利用しながら紹介する。



段階	主な学習活動(時間)	学習活動の工夫	主な評価規準
み と お す	学習のめあてをもち、学習計画を立てる。(3)	<ul style="list-style-type: none"> 身近な環境問題について、自分の生活経験を振り返りながら、調べてみたい課題を考える。 資料から事例や筆者の主張を読み取り、自分の生活を振り返りながら、感想をまとめられるようにさせる。 感想を交流することで、課題に対する見通しや情報収集の方法について考えるきっかけをつかませる。 	<p>身近な生活から問題点を見つけようとしている。(観察・発言・ワークシート)</p> <p>資料から事例や筆者の主張を読み取り、自分の生活と比べて感想をまとめている。(観察・発言・ワークシート)</p> <p>自分が調べてみたい課題を見つけ、進んで学習計画を立てている。(観察・ワークシート)</p>
	調査活動を行う。(2)	<ul style="list-style-type: none"> 計画に従い、調査活動を行う。 調査で得られた結果を必要に応じて図や表で整理しておく。 	自分の課題を解決するために、計画に従って調べ学習を行い、結果を整理している。(観察・ワークシート)
ふ か め る	調査活動の結果から自分の考えを整理し、発表メモを作る。(1)	発表に必要な事柄を整理して、聞き手によく分かるように組み立てを工夫させる。	発表メモを作成し、聞き手によく分かるように、話の組み立てを工夫している。(発表メモ)
	発表に必要な材料や調査結果を整理して資料を作成する。(2)	効果的な資料の構成や資料の作り方を確認する。	発表メモをもとに、必要な材料や調査結果を整理して、効果的に資料を作成している。(観察・資料)
	発表メモをもとに、話す練習をする。(1)	どこで、どの資料を指し示すかを考える。また友だちと聞きあって、よりよい話し方になるように練習する。	発表メモをもとに、ポスターや写真、具体物を提示しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話している。(観察)
	発表会を開き、意見交換をする。(2) 本時 2 / 2	聞き手は自分の課題や考えと照らし合わせ、気づいた事をメモにとりながら聞く。	メモを取りながら発表を聞き、考えを深めたり新しい意見を持ったりしている。

ま と め る	深まった自分の考えを書く。 (4)	・友達の考えと自分の考えの共通点や相違点から、自分の考えが補強されたことや修正されたことなどあるか考え、メモにまとめたものを利用しながら、効果的な組み立てを工夫する。	自分の考えが明確になるように組み立てを考えているか。 (ワークシート)
		・事実と感想、意見を区別するための書き方を確認し、自分の生活と照らし合わせながら文章にまとめる。	事実と感想・意見を区別しながら、自分の考えが明確になるように文章を書く。(作文)
		・お互いの作文を読みあい、感想交流する時間を確保する。	文章を直したり、友達の作文のよさを伝え合ったりする。 (観察、ワークシート)



次單元へ

意見を整理しながら、目的に向かって話し合う『失敗をめぐって』
自分の生活をよりよくする目的に向かって、グループで順序や段取りを考え、思いやりを持って話し合う。

5 本時の指導

(1) 目標

関心・意欲・態度

友達の発表を聞き、自分の考えを深めようとする。

話すこと・聞くこと

発表メモをもとに、ポスターや写真、具体物を提示しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話している。

自分の考えとの共通点や相違点を考えたり、メモを取ったりしながら友達の発表を聞くことができる。

書くこと

発表を聞いて思った事を箇条書きでメモにとることができる。

(2) 本時の指導にあたって

本時は、「深める」段階の8時間目で、調べたことの発表会の2時間目である。自分の考えと照らし合わせながら友達の発表を聞き、自分の考えを深める学習である。友達の発表を聞いて、自分の課題や考えと比べながら、共通点や相違点、なるほどなあと思ったところなど自分の考えが深まるような部分を特にメモにとりながら聞くようにしたい。

また、意見交換をすることで、発表者も聞き手も考えを深められるようにしていきたい。

(3) 展開

段階	学習活動（主な発問・児童の反応）	指導上の留意点（支援 評価）
み と お す 5 分	<p>1 学習課題を確認する。 課題を読みましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>友達の発表を聞いて、気づいた事をメモに取りながら感想を発表しよう。</p> </div> <p>2 友達の発表を聞くときの観点を確かめる。 友達の発表を聞くときに、大切なことはどんなことですか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する意見が同じか違うか。 ・調査方法が同じか違うか。 ・自分の考えが深まったことや新たに変わったこと。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の振り返りをし、特によかった意見や感想を紹介するとともに、本時の課題を確認させる。 ・発表を聞くときの観点とともに、メモのとり方も確認させる。 ・良い話し方（発表の仕方）についても確認させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・話し方の工夫について。 ・組み立ての工夫について。 ・資料の提示の仕方について。 </div>
ふ か め る 30 分	<p>3 発表会を始める。 発表を始めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人当たりの発表時間2分、意見交換3分を目安とする。 ・友達の発表を聞いて考えた事を、次にまとめて書くという見通しを持つ。 ・友達の発表を聞き、気づいた事をメモする。 ・メモはなるべく簡潔に取るようにし、意見交換が活発にできるようにする。 	<p>発表メモをもとに、ポスターや写真、具体物を提示しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話している。 (発表メモ、観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換は、主に発表内容に関するものを出すようにさせる。 ・疑問に思った事を質問したり、違った考えを出したりすることによって、発表者も聞き手も考えを深められるようにさせる。 <p>友達の考えと自分の考えとを比べながら聞き、共通点や相違点をメモする。(観察・メモ)</p>
ま と め る 10 分	<p>4 学習の振り返りをする。 今日の学習の感想を書きましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>(発表者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の発表についての振り返りをする。 ・友達からの意見を聞いて感じたことを書く。 <p>(聞き手)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の聞き方について振り返りをする。 ・意見交換を通して、気づいた事を書く。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表者として、聞き手としてそれぞれ自己評価をさせる。 ・自分の考えが深まったり、新たな考えを持ったりしたことをまとめさせる。

(4) 具体の評価規準と手立て

	A(十分満足)	B(おおむね満足)	C(努力を要する子の支援)
話す	発表メモをもとに組み立てを工夫しながら、ポスターなどの具体物を示しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。	発表メモをもとにポスターなどの具体物を示しながら、目的や場に応じた適切な言葉遣いで話すことができる。	発表メモをもとに、目的や場に応じた適切な言葉遣いで発表させる。
聞く	自分の考えとの違いや共通点を箇条書きでメモに取りながら聞き、考えを深めることができる。	自分の考えとの違いや共通点をメモに取りながら聞くことができる。	発表したことについて、気がついた事をメモに取るようにさせる。

板書計画

<p>・・・発・・・発 感良参考調共表気言姿声表 心い考え査通を持葉勢のを し点に方方点聞ち遣・大す たし法やくをい視きる こた違時こ線さ時 といいめや こて話 とす 速 さ</p>	<p>表事 しを友 よメ達 うもの に発 取表 りを な聞 がい らて 感気 想づ をい 発た</p>	<p>課 題</p>	<p>伝 人え と合 もっ のて と考 のえ 付よ きう 合 い 方</p>
---	--	-------------------------	---

座席表

発表者
